

平成 21 年 8 月 21 日

各 位

不動産投資信託証券発行者名

東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号  
六本木ヒルズ森タワー  
ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人

代表者名 執行役員 鈴木 博之  
(コード番号: 8981)

資産運用会社名

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社

代表者名 代表取締役 鈴木 博之  
問合せ先 管理本部長 板橋 昇

TEL. 03-6439-0333

2009 年 7 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2009 年 7 月度の月次総売上高並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人である株式会社ホテルマネージメントジャパンから開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル/項目		7 月度	対前年 同月増減 注 7)	(参考) 累計 注 8)	(参考) 対前年 累計増減 注 9)
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率	69.8%	-7.4%	68.7%	-8.2%
	ADR (円)	13,873	-1,170	15,342	172
	RevPAR (円)	9,683	-1,923	10,547	-1,118
	売上高 (百万円)	462	-34	5,472	-724
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率	68.0%	-17.5%	80.5%	1.8%
	ADR (円)	17,181	-1,279	18,371	-686
	RevPAR (円)	11,680	-4,106	14,796	-217
	売上高 (百万円)	470	-82	5,991	-121
なんばオリエンタルホテル	稼働率	74.6%	-10.1%	74.9%	-11.8%
	ADR (円)	9,632	-965	10,363	-183
	RevPAR (円)	7,186	-1,794	7,759	-1,380
	売上高 (百万円)	146	-18	1,623	-174
ホテル日航アリビラ	稼働率	82.8%	-6.8%	75.3%	-0.7%
	ADR (円)	41,999	-959	24,369	-86
	RevPAR (円)	34,770	-3,727	18,352	-225
	売上高 (百万円)	686	-79	4,611	-162
オリエンタルホテル広島 注 6)	稼働率	68.6%	-6.2%	70.6%	9.2%
	ADR (円)	8,738	149	8,933	213
	RevPAR (円)	5,990	-434	6,309	953
	売上高 (百万円)	143	-38	1,955	120
上記 5 ホテル合計	売上高 (百万円)	1,907	-251	19,652	-1,061

7月度の実績に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

#### 神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、前月から比較すると特にレジャーマーケットの回復が見られるものの、引き続き新型コロナウイルスによる団体需要への影響は払拭できておらず、売上は前年同月を下回りました。レストラン部門では宿泊者数の減少に伴う朝食売上の減少により、前年同月の売上を下回りました。一般宴会では新型コロナウイルスの影響により順延されていた宴席の実施等により前年同月比で売上が増加したものの、婚礼宴会は新規競合施設の影響による件数の減少から前年同月の売上を下回りました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約34百万円下回りました。

#### オリエンタルホテル 東京ベイ（旧：新浦安オリエンタルホテル）について

宿泊部門では、TDR25周年イベントの集客効果剥落を主因として、ADR、稼働率共に前年同月を下回り、結果として売上は前年同月を下回りました。レストラン部門では、昼食売上は好調に推移したものの、宿泊客の減少に伴う朝食および夜食売上の減少により前年同月の売上を下回りました。宴会部門では、婚礼宴会は前年同月を上回ったものの、一般宴会は前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は、前年同月を約82百万円下回りました。

#### なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、レジャー需要に回復が出てきたものの、円高を受けた韓国インバウンドの落込み継続、景況感の低迷を受けたビジネス需要の回復の遅れ等により、ADR、稼働率共に前年同月を下回り、売上も前年同月を下回りました。結果として、総売上は前年同月比で約18百万円下回りました。

#### ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、沖縄本島への入島者数が対前年比で引き続き下落する中、価格を引き下げた商品で前半は稼働をある程度維持したが、高単価に推移した夏休みからの需要が弱く、ADR、稼働率共に前年同月を下回り、結果として売上は前年同月を下回りました。料飲部門では、宿泊者数の減少等によりレストラン利用者が減少し、売上が前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約79百万円下回りました。

#### オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、前月末に広島市内で初めてとなる新型コロナウイルス患者が確認されており、キャンセル等の直接的な影響を受けたため、売上は前年同月を下回りました。料飲部門は、一般宴会の新型コロナウイルスによるキャンセルの影響が大きく、レストラン部門はプラン商品販売が奏功し前年同月を上回ったものの、売上は前年同月を下回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約38百万円下回りました。

#### ※ご参考

##### 新型コロナウイルスの影響について

7月度における新型コロナウイルスを起因とした宿泊、一般宴会、レストラン等の予約キャンセル（直接的影響）は、神戸及び広島を除き、ほぼ収束しつつある状況でした。

注：7月度における新型コロナウイルスの影響のうち、予約キャンセル額は、神戸メリケンパークオリエンタルホテルでは約3百万円、オリエンタルホテル広島では約4百万円、その他ホテル合計では約1百万円、5ホテル合計では約8百万円でした。

尚、8月中旬以降新型コロナウイルスに関連する報道等が数多くなされておりますが、その影響につきましては、今後も月次開示を通じてお知らせしてまいります。

注 1) 上記のコメントは運用会社が貸借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご注意ください。

注 2) 各月の数字については監査等の手続を経ないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ヶ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価

証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

- 注 3) ADR : 平均客室販売単価 (Average Daily Rate) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計 (サービス料を除きます。) を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。
- 注 4) RevPAR : 販売可能客室数当たり宿泊部門売上 (Revenue Per Available Room) をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。
- 注 5) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。
- 注 6) オリエンタルホテル広島については平成19年10月1日取得のため、対前年同月及び累計増減の算出基礎となる平成19年9月の数値は、未監査です。
- 注 7) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。
- 注 8) 累計とは当期期首から当該月までの累計値を記載しています。
- 注 9) 対前年累計増減とは、当期期首から当該月までの累計値と前前期期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。

以上

\* 本投資法人のホームページアドレス : <http://www.jhrth.com/>